

# マイクロファイナンス・ボンド

国際金融公社 2013年9月26日満期南アフリカ・ランド建債券



©IFC

期間 約3年 利回り 年5.70% 課税後利回り 年4.56%

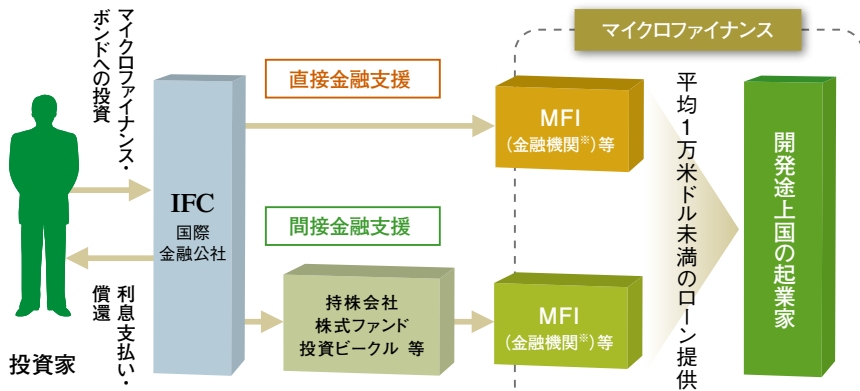
(注)利回り・利率は南アフリカ・ランドベースです(為替の考慮をしておりません)。

## 売出要項

|                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 【利率】年5.70%                 | 【受渡日】2010年9月22日          |
| 【売出価格】額面金額の100%            | 【利払日】毎年3月・9月の各26日/年2回    |
| 【お申込単位】額面金額1万南アフリカ・ランド単位   | 【償還日】2013年9月26日          |
| 【売出期間】2010年9月9日～2010年9月16日 | 【格付】Aaa(ムーディーズ)/AAA(S&P) |

マイクロファイナンスとは、貧困層向け小規模金融サービスの総称です。  
「マイクロファイナンス・ボンド」は、IFCが手掛けるマイクロファイナンス事業を支援します。

国際金融公社(以下、IFC)は、当該債券の残存期間中、開発途上国の起業家に対する平均1万米ドル未満のローン提供(マイクロファイナンス)を行なう金融機関への直接金融支援、あるいは持株会社、株式ファンド、投資ピークルや他の特別目的会社を通じての間接金融支援に、同債券発行代わり金と同額を充当すべく最大限の努力をします。当該目的に全額充当できない場合は、IFC協定に則った一般運転資金に充当します。マイクロファイナンス・ボンドの元利金は、IFCの信用力のみに基づいて支払われるものであり、IFCが行なうマイクロファイナンス投資の結果に直接の影響を受けるものではありません。



※ここでの「金融機関」とはマイクロファイナンスを提供する機関を指します。

### ご投資にあたってのリスク等

- 本債券を円換算した価値は、利金・償還金として支払われる外貨の円に対する為替水準により上下いたしますので、これにより投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の価格は金利変動等により上下いたしますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割込むことがあります。
- 本債券の発行者および利金・償還金として支払われる外貨発行国の経営・国情・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割込むことがあります。

### 手数料など諸費用について

- 本債券をお買付けいただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券は外貨建債券ですので、外国証券取引口座設定申込書を取りかわし、口座管理料(通常、年間3,150円(税込))を別途お支払いいただきます。

### ご投資にあたっての留意点

- 本表示は当該債券の発行に関する情報をお知らせするものです。お申込みにあたっては当該債券の詳細について記載した販売説明書をご覧のうえ、ご検討されることをおすすめします。
- 販売額に限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。
- 売出期間中はご購入のお申込みを取消することができます。その場合、発生する為替差損はお客様のご負担となります。
- お取引にあたっては、「外貨建て債券の契約締結前交付書面」をお読みください。

世界的に大きな課題である貧困。1日2ドル未満で暮らす人々は世界で25億人にも上るといわれており、その多くは電気も、清潔な水も、基礎的なヘルスケアもない状態です。\*

こういった貧困問題を解決するための有力な手段として、近年世界中で大きな注目を集めている仕組み、それがマイクロファイナンスです。

※IFC「2009年度年次報告書」より

## マイクロファイナンスとは

マイクロファイナンスとは、貧困層向け小規模金融サービスの総称です。貧しいが故に金融サービスを受けられない人々に対し、小規模の無担保融資（マイクロクレジット）などを提供し、貧困からの脱却と経済的自立を支援することを目的としています。

MFI（マイクロファイナンスを行う機関、Microfinance Institution）の数は約1万に上るといわれ、中でもバングラデシュのグラミン銀行やBRAC（バングラデシュ農村向上委員会）が有名です。グラミン銀行およびその創始者であるムハマト・ユヌス氏は、2006年にノーベル平和賞を受賞し、これをきっかけにマイクロファイナンスが世界中に広く知られることとなりました。

大和証券 マイクロファイナンス特集ホームページ <http://www.daiwa.jp/microfinance/>



©IFC

## 国際金融公社のマイクロファイナンス

開発途上国の経済成長を目指す国際金融公社（以下、IFC）では、マイクロファイナンスを貧困問題解決に向けた有力な手段のひとつと考え、この分野で積極的に活動しています。

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 投資合計金額   | 17億米ドル                        |
| 投資対象国    | 68カ国                          |
| 投資先MFIの数 | 延べ130以上<br>(延べプロジェクト数:238)    |
| 最終借り手数   | 1,300万人以上<br>(貸出金額:160億米ドル以上) |

IFCは、金額と対象国数の両面において、マイクロファイナンス業界トップの投資家です。

IFCが焦点を当てているのは、MFIの設立や育成です。世界中のより多くの貧しい人々が金融サービスを受けられるようにするためには、各地のMFIが事業を拡大することが必要であるからです。IFCは、直接・間接金融支援やアドバイザー・サービスなどにより、MFIをサポートしています。

## マイクロファイナンス・ボンド

『マイクロファイナンス・ボンド』により調達された資金は、IFCを通じてMFIの金融支援に充当され、最終的に貧しい人々への金融サービス等に活用されることになります。

貧しいが故に努力する機会すら与えられなかった人々は、マイクロファイナンスで借りた資金を元手に商売を始め、得た収入を安全に蓄えるなど、自立に向けた一歩を踏み出すことが可能となるのです。



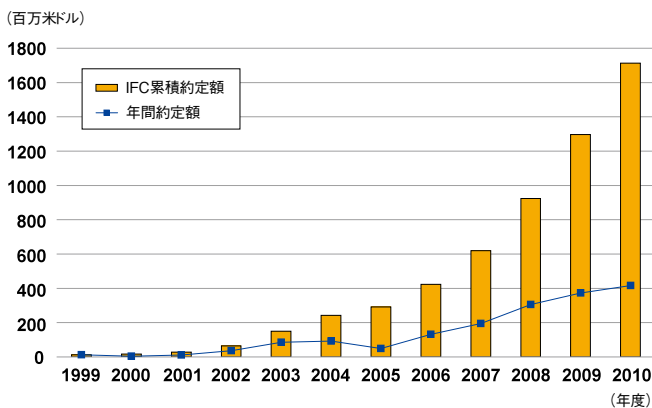
©IFC

世界の貧困削減に貢献することができる債券、それが『マイクロファイナンス・ボンド』です。

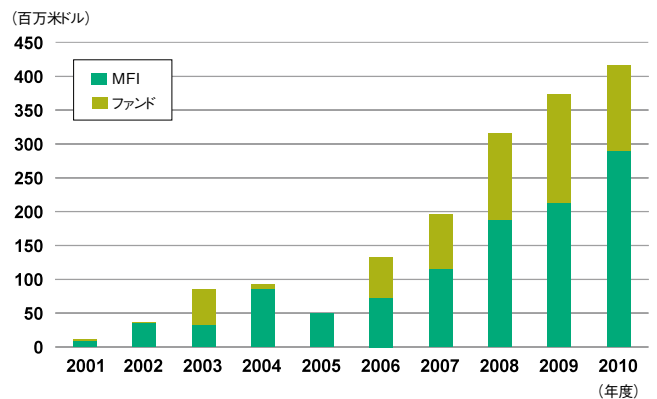
# マイクロファイナンスにおけるIFCの投資額推移

- 2010年度約定額: 4億1,600万米ドル
- 累積約定額: 17億米ドル以上 (2010年6月現在)

## IFCマイクロファイナンス 年間および累積約定額



## IFCマイクロファイナンス 年間約定額



## ProCredit Group ~IFCの融資先事例~

プロクレジット・ホールディング(PCH)はIFCにとって最も古く、かつ最大のマイクロファイナンス顧客です。2009年12月現在、IFCはPCHと子会社に対して、合計1億6,000万米ドルもの投融資を実行しています。

内訳

ネットワーク銀行8行との総額1億2,300万米ドルの協調融資  
およびPCHへの3,700万米ドルの出資



※写真はイメージです。

©IFC

- PCHは、International Projekt Consult GmbH (IPC) によって1998年にドイツで設立されました。
- PCH傘下にある21の銀行は、アフリカ、中南米および東欧にて業務を展開しており、小規模企業への質の高い銀行業務を行なっています。
- PCHのマイクロ・ローンの件数は、100万件程度に上ります(2009年12月現在)。

## 国際金融公社(International Finance Corporation)とは

- IFCは1956年に設立された国際機関で、182カ国が加盟しています(2010年9月現在)。
- 世界銀行グループに属しており、特に民間部門に的を絞ってさまざまな業務を展開しています。
- IFCの使命は、開発途上国において持続可能な民間部門投融資を促進することにより、貧困削減と人々の生活水準の向上に役立つことです。

# インパクト・インベストメント

## ～投資を通じた社会貢献～

大和証券では、資金を必要としている人と資金を持つ人をつなぐという証券会社本来の役割を通じ、投資家の皆さまとともに、貧困をはじめとするさまざまな問題の解決に寄与していきたいと考えております。

### インパクト・インベストメント

欧米では今、“インパクト・インベストメント (Impact Investment)” という新たなトレンドが動き出しています。インパクト・インベストメントとは、経済的な利益を生み出すと同時に、貧困や環境などの社会的課題に対して、より直接的で即効性のある解決を目指す投資のことです。投資リターンのみならず社会的リターンも期待できる、新しい投資のかたちであるといえます。日本ではまだ馴染みのある言葉とはいえませんが、「良いことをしながら良い投資をしたい」と考える人は増えていくのではないのでしょうか。

### 社会的課題の解決に向けて -大和証券の取組み-

大和証券ではこれまで、途上国の子どもたちへの予防接種活動を支援する『ワクチン債』、水問題に取り組むプロジェクトを支援する『ウォーター・ボンド』、アフリカにおける教育の普及・拡大を支援する『アフリカ 教育ボンド』など、社会貢献につながる金融商品を販売してきました。今回の『マイクロファイナンス・ボンド』により調達された資金は、マイクロファイナンス事業に活用され、貧しい人々の経済的自立に寄与します。今後も、こうしたインパクト・インベストメント商品の開発・販売に積極的に取り組んでいきます。

大和証券コールセンター  **0120-010101** 平日 8:00～22:00 土・日・祝日 9:00～17:00

- 資料請求については、上記時間帯はオペレーターが、その他の時間帯は自動音声応答にて受付けております。
- 取扱商品等のお問い合わせは平日8:00～18:00に受付けております。

■新発外貨建て債券注文受付時間・・・平日9:00～18:00 (※お申込み最終日のみ、11:00まで)

インターネット (オンライントレード) でもお申込みいただけます。 大和証券ホームページ [www.daiwa.jp](http://www.daiwa.jp)



**ダイワのポイントプログラム**  
うれしい特典いっぱい!

本債券はポイントプログラムの対象商品になります。  
詳細は大和証券 本・支店、またはコールセンターへお問い合わせください。

販売説明書のご請求・お申込みは・・・

# 大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、  
社団法人 金融先物取引業協会